

氏名

めあて

情報について考えを深め、自分の意見を持つ。

●アンケートやランキングなどの社会調査に接する時、
気を付けなければならないことは何ですか。

「目的と対象があっているか。」

「目的と内容があっているか。」

「目的がめいりくたになっているか」

●筆者の主張に触れて、自分がこれから情報にどう接してどう考えるか、書かされた。
見極める能力を高める。

「普通のニュースなどで、いつも」

「こそだけが本当だ」と思わないで、本当にこそでいいのか

「いつも考えていたら少しずつついていくと思」

あとズレがどの種類、のズレかなども考えていると分かる

「やすすくなると思」今、テレビ、ハイパー、パソコン、新聞

「などいろんなことで情報をえること」

「間違っていること」

「そのまま受け取らないで、その根拠が本当に正しいのかを

自分でも考える。

氏名

めあて

情報について考えを深め、自分の意見を持つ。

●アンケートやランキングなどの社会調査に接する時、
気を付けなければならないことは何ですか。

「調査の目的がはっきりしない」

「目的が対象がはっきりしない」

「目的と内容がズレている」

「見解が異なる」

●筆者の主張に触れて、自分が「わからぬ情報」として感じていることをかきおろす。

私は毎日新聞を二紙よみているが、政治のところは

よくわかる。よく社会調査がのっている。アンケートもよく

わかる。アンケートもよくある。口供に悪くはない。よく考えていた

が、それは安易な考えである。ことにきづいた。社会調

査の裏しや改善を考えると、情報は必ずしも正しく

ないと知った。私は昨年「教中」で感想文を書いたが、

その時、「誰の目にも明らかでない事実ではない。固定観念に

とらわれ、様々な面から情報をよめる」と書いた。

これは社会調査にきくと思える。情報化社会に生きていく

ことにおいて、自分で真偽を見極めなければならない。もっと

学んでいかなければならない。